



稲穂いなほ

学校教育目標

ゆめをもち 心あわせて あしたをえがく
～ 学んで 遊んで よりよく考える ～

仙南小学校 学校報

R3 11 17
No.31

手洗い教室で2年生が正しい洗い方をマスター 11月9日(火)

2年生を対象に手洗い教室が行われました。秋田県大仙保健所から1名、大曲食品衛生協会から7名、美郷町教育委員会から1名、合計9名の皆さまにご来校いただき、手洗いの大切さや手洗いの方法について教えていただきました。

今回は、ルミテスターという手の汚れを測る装置を使用し、洗う前と洗った後で数値がどのように変化するか、一人一人が確認しました。判定基準は、1500より少ないと合格、1500～3000が要注意、3000を超えると不合格です。最初、10000を超えている人がたくさんいましたが、洗った後は、全員が見事に合格することができました。

今回の手洗い教室で、手洗いがなぜ必要なのか、どのように洗うと手の汚れを落とすことができるのか、しっかり理解することができました。新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症対策としても手洗いは大切です。今回学んだことを生かして正しい手洗いを習慣化していきたいと思えます。



先生もルミテスターで確認



石けんでしっかり洗う2年生



合格できるかドキドキ

美郷にズームイン ～まかせて美郷ヘルパー隊！～ 11月11日(木)

3年生は前期から総合の学習で、美郷町のよさを調べる学習をしてきました。そして今回、町内のいろいろな場所に出かけて仕事のお手伝いをする「美郷ヘルパー隊」を結成しました。

この日は、3年2組の4つのヘルパー隊が「仙南すこやか園」「道の駅美郷」「アックス」「秋田諏訪宮」でお仕事をしました。子どもたちは、訪問先で担当の方にあいさつをし、仕事の内容を説明していただきました。慣れるまで戸惑うこともありましたが、次第にいつものペースを取り戻し、元気に仕事をすることができました。

子どもたちは、ふるさと美郷のよさと働くことの意義を今回の活動で感じ取ることができました。

なお、3年1組のヘルパー隊は、18日(木)に別の場所で活動することになっています。



レジのお手伝い(アックス)



絵本の読み聞かせ(すこやか園)



見やすいように陳列(道の駅美郷)



参拝記念木札作り(秋田諏訪宮)

これまでの学校報は、[仙南小学校ホームページ](http://www.sennanjs.sakura.ne.jp/)に掲載しています。また、日々の学校での出来事や話題等を紹介している[Web日記](#)も随時更新中です。ぜひ、ご覧ください。

仙南小学校 ホームページ <http://www.sennanjs.sakura.ne.jp/> または、「[仙南小学校ホームページ](#)」で検索してください。

もっとなかよし まちたんけん 11月12日(金)

2年生は、生活科の学習で「まちたんけん」に出かけました。施設を見学し、そこで働いている人たちが、どのような仕事をしているのか、自分たちの生活とどのような関わりがあるのか、調べてきました。グループごとに分かれ、給食センター、すこやか園、公民館、リリオスを見学してきました。

各場所で、そこで働いている人たちの様子を見たり質問したりして、気付いたことを記録用紙に記入していました。今回調べたことについては、各グループのメンバーが新聞にまとめる作業をしているところです。



なつかしい仙南すこやか園



公民館のステージ



広くて天井も高いリリオス 調理員さんの服 給食センター



坂本東嶽邸FW 11月12日(金)

4年生は、先人のはたらきにより地域の人々の生活が豊かになり発展してきたことを社会科で学習しています。そこで、美郷町の発展に尽力した坂本理一郎(東嶽)について調べるため、坂本東嶽邸を見学しました。

坂本東嶽邸に到着した4年生は担当の方から、坂本理一郎の生い立ちについて説明していただき、さらに坂本東嶽邸の内部も見せていただきました。明治時代の趣のある日本家屋や理想の村づくりのために生涯努力した坂本理一郎の生き方に触れることができた貴重なFWとなりました。



坂本東嶽邸で説明を受ける4年生



多くの作品が紹介されました。



各校から質問が出されました。

大小島真木さん講演会 11月15日(月)

美郷中学校を会場に、現代美術家大小島真木さんの講演会があり、美郷中学校生徒と町内各小学校6年生が参加しました。大小島さんは、生命の起源ともいえる「木・火・土・金・水」をテーマに、公民館と町内各小中学校の壁画を制作された方です。本校では、6学年が1年生の時に「土」をテーマとした作品を制作され、6年生の皆さんとも交流しています。

講演の演題は「生命の螺旋(らせん)、からまり合う生と死を通じて」でした。大小島さんは、生命の螺旋(らせん)とは、「多くの生命の生と死が繰り返される中で、生き物が命をいただき、そのバトンを渡していくこと」で、今を一生懸命に生きる大切さや自分がたくさんの生き物に生かされていることを、ご自身の作品を解説しながら伝えてくださいました。講演後には、会場からの質問にも丁寧に答えてくださいました。本校1階ホールの大小島さんの作品を改めて見た時、生と死、そして命の尊さについて、これまで以上に感じる何かがあることでしょうか。*下の写真のバックが大小島さんの壁画です。

がんばりました おめでとう!

第7回県南少年柔道大会

団体戦 準優勝 5年 OO OOOさん

第31回東アジアホープス卓球大会秋田県予選会

男子シングルス 第3位 5年 OO OOさん

第13回山のはちみつ屋カップ

第3位 美郷エスプランザ

バレースポーツ少年団

5年 OO OOさん
5年 OOO OOさん
5年 OO OOOさん
3年 OO OOさん
3年 OO Oさん
3年 OO OOさん



美郷エスプランザの皆さん



5年 OO OOOさん



5年 OO OOさん